

3.1 アンケート調査結果結果(一般)

伊賀市環境基本計画の見直しを行うため、市民の皆様の環境に対する意向や意見、環境保全への取組みなどについて、意識調査を実施させていただきました。

- 調査時期：令和2年11月～12月
- 対象者：伊賀市在住の方(無作為抽出)

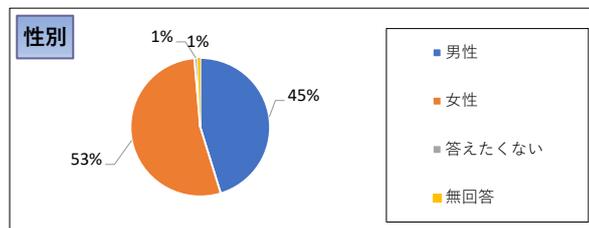
- 担当課：人権生活環境部
- 回答数：813人(回収率45.1%)

【回答者について】

問1 あなたの性別は？

男性が45%、女性が53%でした。

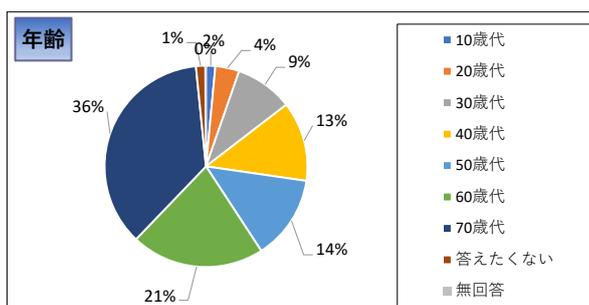
	人数(人)	割合(%)
男性	368	45%
女性	434	53%
答えたくない	6	1%
無回答	5	1%
合計	813	100%



問2 あなたの年齢は？

60歳代、70歳代以上が合わせて57%と半数以上を占めています。

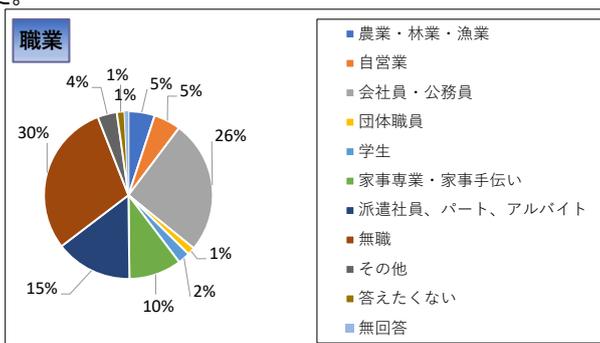
	人数(人)	割合(%)
10歳代	12	1%
20歳代	31	4%
30歳代	75	9%
40歳代	104	13%
50歳代	110	14%
60歳代	173	21%
70歳代	295	36%
答えたくない	12	1%
無回答	1	0%
合計	813	100%



問3 あなたの職業は？

無職が30%と最も多く、次いで会社員・公務員が26%でした。

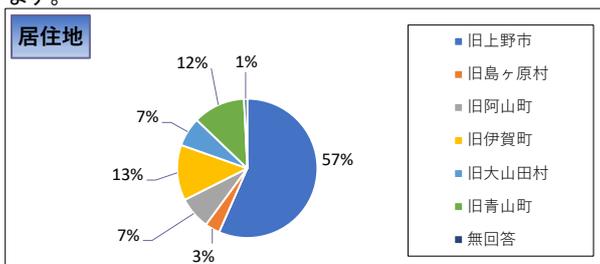
	人数(人)	割合(%)
農業・林業・漁業	41	5%
自営業	42	5%
会社員・公務員	209	26%
団体職員	12	1%
学生	19	2%
家事専業・家事手伝い	82	10%
派遣社員、パート、アルバイト	120	15%
無職	240	30%
その他	30	4%
答えたくない	12	1%
無回答	6	1%
合計	813	100%



問4 あなたのお住いの地区は？

旧上野市が57%と最も多く、次いで旧伊賀町の13%となっています。

	人数(人)	割合(%)
旧上野市	460	57%
旧島ヶ原村	28	3%
旧阿山町	61	8%
旧伊賀町	105	13%
旧大山田村	55	7%
旧青山町	98	12%
無回答	6	1%
合計	813	100%



【単純集計結果】

I 環境に対する関心度

問5 私たちが日常くらししているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境について、関心はありますか。

「関心がある」、「ときどき考えてみる」を合わせると約90%となり、「あまり関心がない」、「まったく関心がない」の約10%を大きく上回り、関心の高さを示しています。

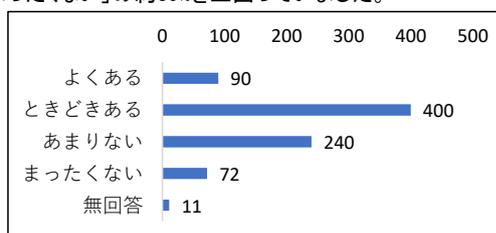
	人数(人)	割合(%)
関心がある	396	49%
ときどき考えてみる	332	41%
あまり関心がない	69	8%
まったく関心がない	13	2%
無回答	3	0%
合計	813	100%



問6 家庭や職場などで環境の話題について話し合ったことはありますか。

「よくある」、「ときどきある」を合わせると約60%となり、「あまりない」、「まったくない」の約39%を上回っていました。

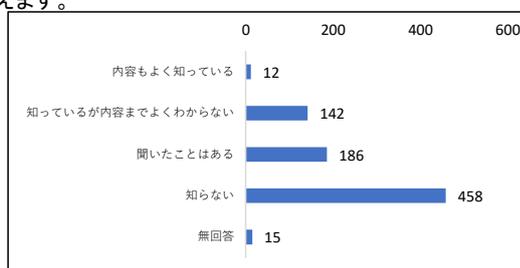
	人数(人)	割合(%)
よくある	90	11%
ときどきある	400	49%
あまりない	240	30%
まったくない	72	9%
無回答	11	1%
合計	813	100%



問7 あなたは伊賀市環境基本条例に基づき策定された「伊賀市環境基本計画」(2007年度～2015年度)を知っていますか。

「知らない」が約56%と半数を超えており、周知されていないことが伺えます。

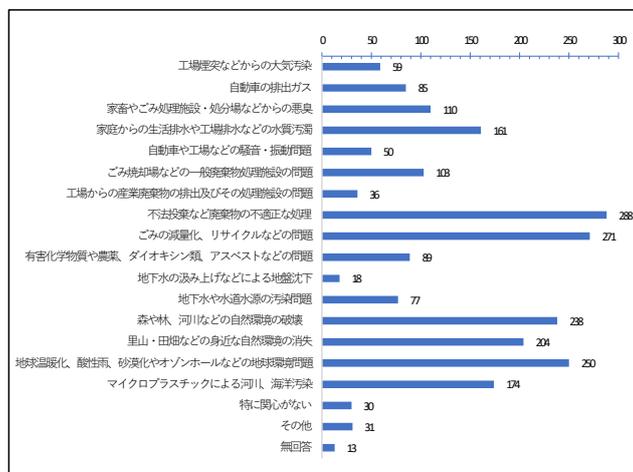
	人数(人)	割合(%)
内容もよく知っている	12	1%
知っているが内容までよくわからない	142	17%
聞いたことはある	186	23%
知らない	458	56%
無回答	15	2%
合計	813	100%



問8 あなたの現在、関心のある環境問題は。

「不法投棄など廃棄物の不適正な処理」が13%と最も多く、
次いで「ごみの減量化、リサイクルなどの問題」12%、
「地球温暖化、酸性雨、砂漠化やオゾンホールなどの地球環境問題」が11%となっています。

	人数(人)	割合(%)
工場煙突などからの大気汚染	59	3%
自動車の排出ガス	85	4%
家畜やごみ処理施設・処分場などからの悪臭	110	5%
家庭からの生活排水や工場排水などの水質汚濁	161	7%
自動車や工場などの騒音・振動問題	50	2%
ごみ焼却場などの一般廃棄物処理施設の問題	103	5%
工場からの産業廃棄物の排出及びその処理施設の問題	36	2%
不法投棄など廃棄物の不適正な処理	288	13%
ごみの減量化、リサイクルなどの問題	271	12%
有害化学物質や農薬、ダイオキシン類、アスベストなどの問題	89	4%
地下水の汲み上げなどによる地盤沈下	18	1%
地下水や水道水源の汚染問題	77	3%
森や林、河川などの自然環境の破壊	238	10%
里山・田畑などの身近な自然環境の消失	204	9%
地球温暖化、酸性雨、砂漠化やオゾンホールなどの地球環境問題	250	11%
マイクロプラスチックによる河川、海洋汚染	174	8%
特に関心がない	30	1%
その他	31	1%
無回答	13	1%
合計	2287	100%



その他

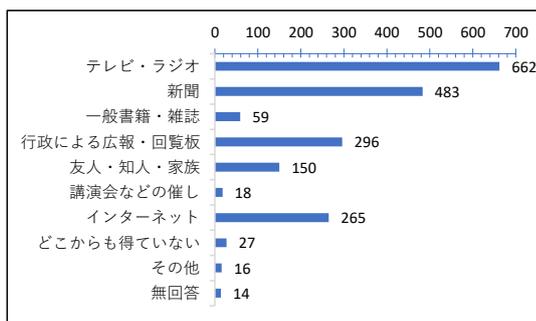
内容	件数
年々PM2.5の汚染がひどくなっていると感じる	1
人が草を燃やして、煙がたくさん出ていること。	1
施設からの悪臭	1
ゴミ不法投棄、特に道路脇、草の中等	1
不法投棄物をよく見かけますが、ゴミ分別が細かすぎて、老人の方達が分別しにくく、多くなると思う。	1
畑に産業廃棄物(食品廃棄物、鶏糞等)を大量に入れていること	1
行政の処理場に不満がある。	1
旧大山田に風力発電が出来る予定?作ってほしくない。	1
ソーラー設置による自然環境破壊と将来のソーラー廃棄物問題。	1
自然環境の破壊、土砂の流出による防災、田畑の減少になるソーラーパネルの設置には、規制が必要だと思います。(法律整備)	1
下水道の暗渠化、是非実行いただきたい	1
里山、竹林、田畑などの身近な自然環境の不管理、荒廃、高齢化による	2
農地を荒らすのしし、シカ、さる、アライグマの被害問題	2
騒音、スピード、住宅内で夏のBBQ	1
自治区、組に入らない人間、人が問題提案する観点から	1
路上禁煙	1
市営プールの閉鎖	1
買物などの足の便	1
空き地の草刈りにお金がかかる	1
空き家の増加、人口減(住民)、限界集落地	2
交通事故が有り心配	1
原発問題、福井県の原発は他人ごとではない。	1

II 環境の情報について

問9 環境に関する情報はどこで入手しますか。

「テレビ・ラジオ」及び「新聞」が最も多く、マスメディア主体となっており、次いで「行政による広報・回覧板」となっています。

	人数(人)	割合(%)
テレビ・ラジオ	662	33%
新聞	483	24%
一般書籍・雑誌	59	3%
行政による広報・回覧板	296	15%
友人・知人・家族	150	8%
講演会などの催し	18	1%
インターネット	265	13%
どこからも得ていない	27	1%
その他	16	1%
無回答	14	1%
合計	1990	100%



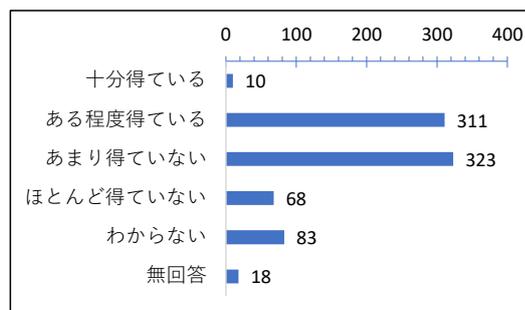
その他

内容	件数
授業、学校	2
自治協	1
会社時代の実務経験、資格取得等、会社での取組	4
自身で感じる	1
居住地の状況	1
スマホ	1
噂	1
生活の中での目視体験	1
地元協議会の会議	1
日常の体験談	1

問10 環境に関する情報入手は十分ですか。

「あまり得ていない」が40%と最も多く、次いで「ある程度得ている」が38%となっています。

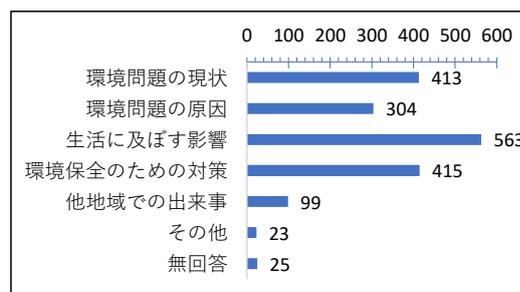
	人数(人)	割合(%)
十分得ている	10	1%
ある程度得ている	311	38%
あまり得ていない	323	40%
ほとんど得ていない	68	8%
わからない	83	10%
無回答	18	2%
合計	813	100%



問11 環境に関して、不足している(知りたい)情報は何か。

「生活に及ぼす影響」が31%と最も多く、次いで「環境保全のための対策」が23%、「環境問題の現状」が22%となっています。

	人数(人)	割合(%)
環境問題の現状	413	22%
環境問題の原因	304	17%
生活に及ぼす影響	563	31%
環境保全のための対策	415	23%
他地域での出来事	99	5%
その他	23	1%
無回答	25	1%
合計	1842	100%

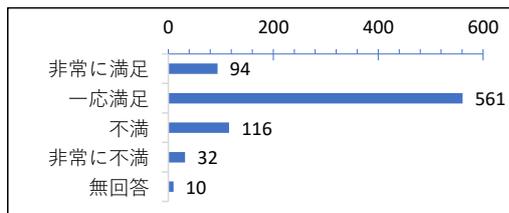


Ⅲ 環境の現状に対する評価

問12 私たちが日常暮らしているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境、また、伊賀市の自然とのふれあいのための施設などについて、満足していますか。

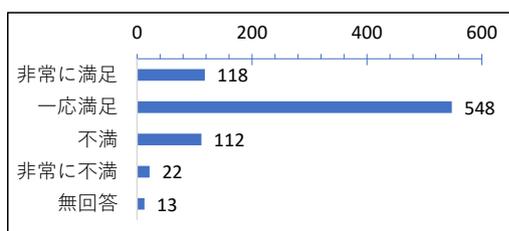
ア. 空気やにおいのさわやかさ(空気の汚れや悪臭がなくさわやかな空気であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	94	12%
一応満足	561	69%
不満	116	14%
非常に不満	32	4%
無回答	10	1%
合計	813	100%



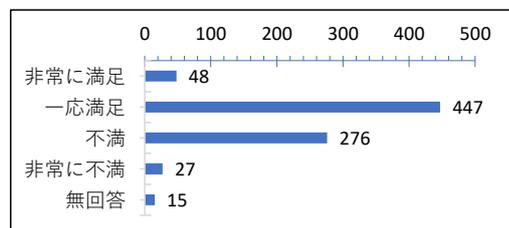
イ. 音の静かさ(車や工場の騒音や振動が気にならないこと)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	118	15%
一応満足	548	67%
不満	112	14%
非常に不満	22	3%
無回答	13	2%
合計	813	100%



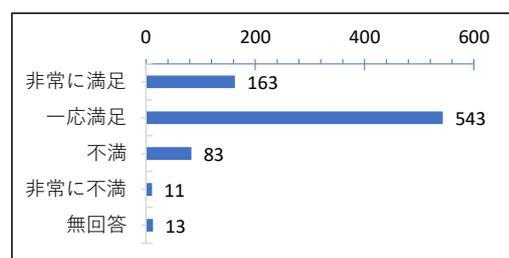
ウ. 川やため池の水のきれいさ(身近な川やため池の水や岸辺がきれいであること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	48	6%
一応満足	447	55%
不満	276	34%
非常に不満	27	3%
無回答	15	2%
合計	813	100%



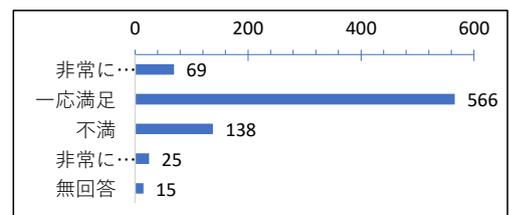
エ. 自然の緑の豊かさ(山や森の木々が豊富で多彩であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	163	20%
一応満足	543	67%
不満	83	10%
非常に不満	11	1%
無回答	13	2%
合計	813	100%



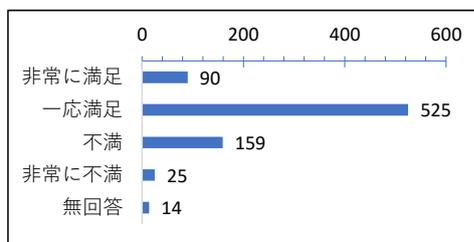
オ. 公園や広場などまちの緑の豊かさ(身近な公園や街路樹の木々が豊富であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	69	8%
一応満足	566	70%
不満	138	17%
非常に不満	25	3%
無回答	15	2%
合計	813	100%



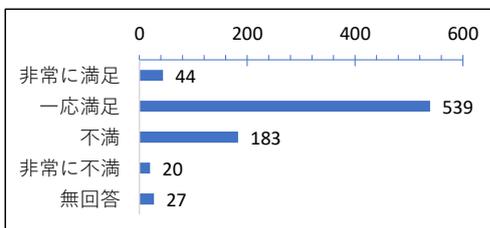
カ. 自然の生物とのふれあい(野鳥のさえずりやホタルなどの昆虫が身近に生息すること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	90	11%
一応満足	525	65%
不満	159	20%
非常に不満	25	3%
無回答	14	2%
合計	813	100%



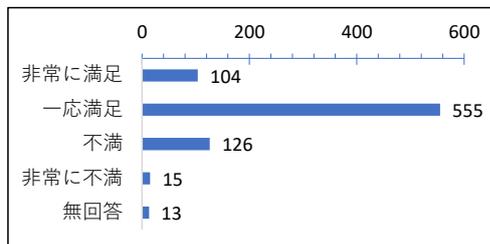
キ. 文化財への接しやすさ(史跡・建造物などの歴史的遺産が保存整備され活用できること)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	44	5%
一応満足	539	66%
不満	183	23%
非常に不満	20	2%
無回答	27	3%
合計	813	100%



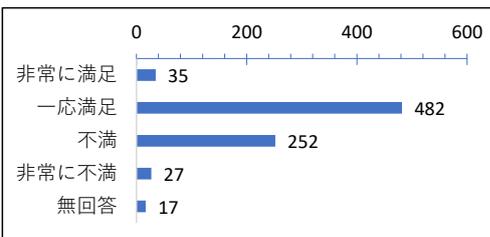
ク. 自然の景色の美しさ(山並みや水辺などの景観の美しさ)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	104	13%
一応満足	555	68%
不満	126	15%
非常に不満	15	2%
無回答	13	2%
合計	813	100%



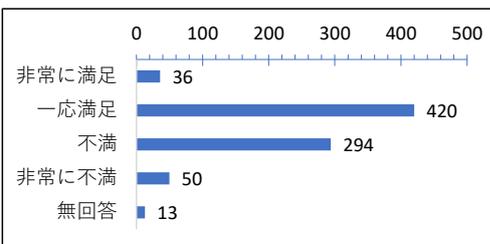
ケ. 街並みの景色の美しさ(建物や他の構造物が全体に調和し看板や広告が氾濫していないこと)

	人数(人)	割合(%)
非常に満足	35	4%
一応満足	482	59%
不満	252	31%
非常に不満	27	3%
無回答	17	2%
合計	813	100%



コ. まちの清潔さ(ごみが落ちていない、側溝などが汚くない)

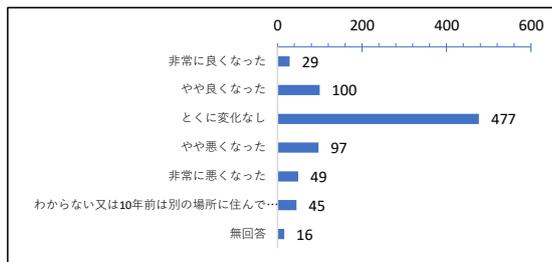
	人数(人)	割合(%)
非常に満足	36	4%
一応満足	420	52%
不満	294	36%
非常に不満	50	6%
無回答	13	2%
合計	813	100%



問13 私たちが日常くらししているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境、また伊賀市の自然とのふれあいのための施設などについて、10年ぐらい前(一昔前)と比較して、良くなっていると思いますか。

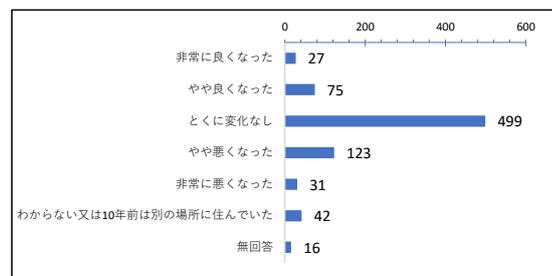
ア. 空気やにおいのさわやかさ(空気の汚れや悪臭がなくなさわやかな空気であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	29	4%
やや良くなった	100	12%
とくに変化なし	477	59%
やや悪くなった	97	12%
非常に悪くなった	49	6%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	45	6%
無回答	16	2%
合計	813	100%



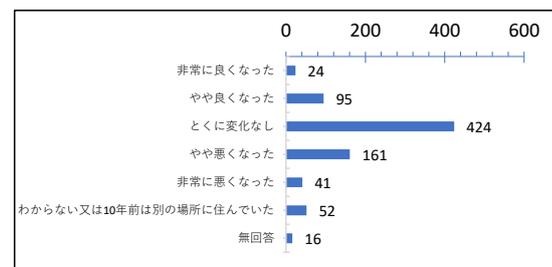
イ. 音の静かさ(車や工場の騒音や振動が気にならないこと)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	27	3%
やや良くなった	75	9%
とくに変化なし	499	61%
やや悪くなった	123	15%
非常に悪くなった	31	4%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	42	5%
無回答	16	2%
合計	813	100%



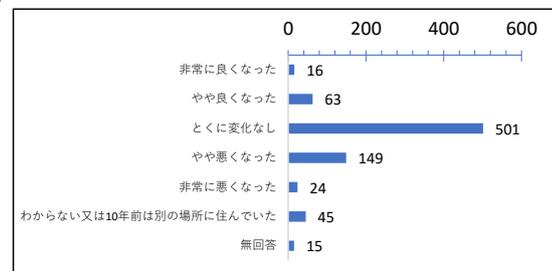
ウ. 川やため池の水のきれいさ(身近な川やため池の水や岸辺がきれいであること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	24	3%
やや良くなった	95	12%
とくに変化なし	424	52%
やや悪くなった	161	20%
非常に悪くなった	41	5%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	52	6%
無回答	16	2%
合計	813	100%



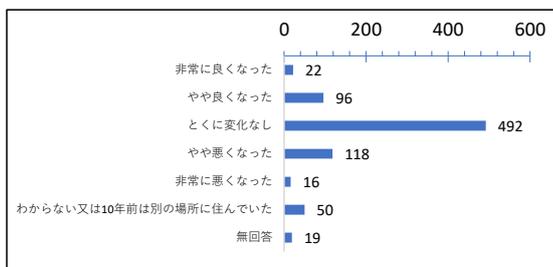
エ. 自然の緑の豊かさ(山や森の木々が豊富で多彩であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	16	2%
やや良くなった	63	8%
とくに変化なし	501	62%
やや悪くなった	149	18%
非常に悪くなった	24	3%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	45	6%
無回答	15	2%
合計	813	100%



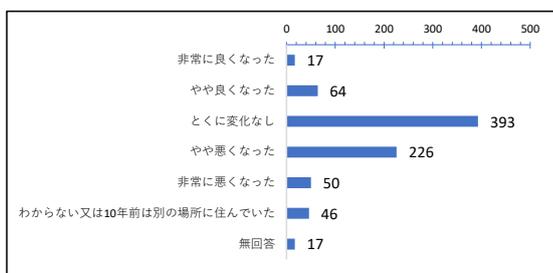
オ. 公園や広場などまちの緑の豊かさ(身近な公園や街路樹の木々が豊富であること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	22	3%
やや良くなった	96	12%
とくに変化なし	492	61%
やや悪くなった	118	15%
非常に悪くなった	16	2%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	50	6%
無回答	19	2%
合計	813	100%



カ. 自然の生物とのふれあい(野鳥のさえずりやホタルなどの昆虫が身近に生息すること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	17	2%
やや良くなった	64	8%
とくに変化なし	393	48%
やや悪くなった	226	28%
非常に悪くなった	50	6%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	46	6%
無回答	17	2%
合計	813	100%



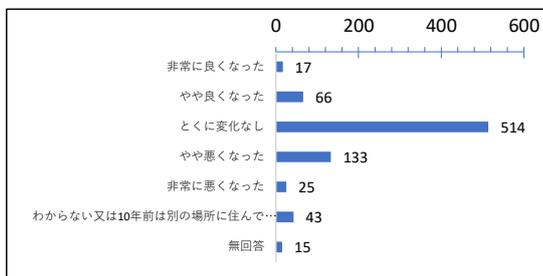
キ. 文化財への接しやすさ(史跡・建造物などの歴史的遺産が保存整備され活用できること)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	19	2%
やや良くなった	118	15%
とくに変化なし	514	63%
やや悪くなった	56	7%
非常に悪くなった	14	2%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	67	8%
無回答	25	3%
合計	813	100%



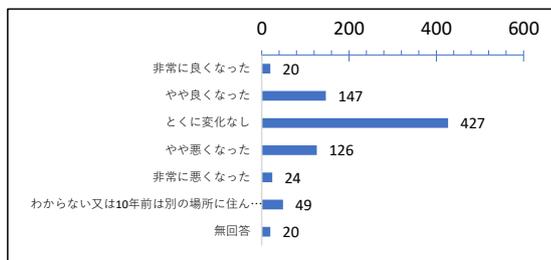
ク. 自然の景色の美しさ(山並みや水辺などの景観の美しさ)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	17	2%
やや良くなった	66	8%
とくに変化なし	514	63%
やや悪くなった	133	16%
非常に悪くなった	25	3%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	43	5%
無回答	15	2%
合計	813	100%



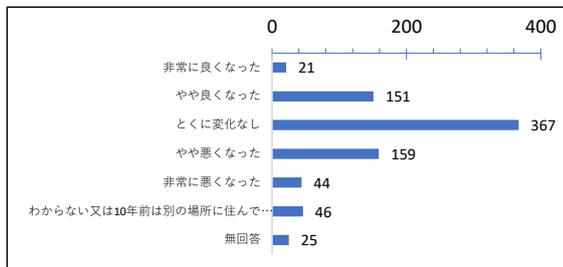
ケ. 街並みの景色の美しさ(建物や他の構造物が全体に調和し看板や広告が氾濫していないこと)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	20	2%
やや良くなった	147	18%
とくに変化なし	427	53%
やや悪くなった	126	15%
非常に悪くなった	24	3%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	49	6%
無回答	20	2%
合計	813	100%



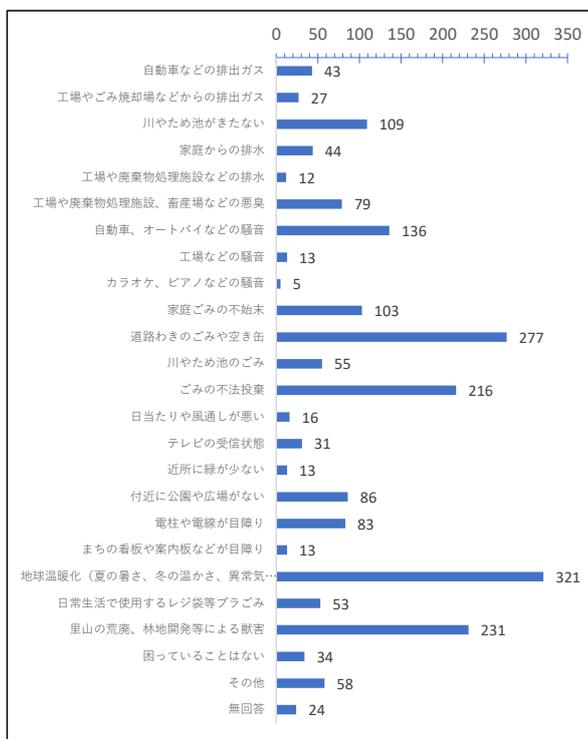
コ. まちの清潔さ(ごみが落ちていない、側溝などが汚くない)

	人数(人)	割合(%)
非常に良くなった	21	3%
やや良くなった	151	19%
とくに変化なし	367	45%
やや悪くなった	159	20%
非常に悪くなった	44	5%
わからない又は10年前は別の場所に住んでいた	46	6%
無回答	25	3%
合計	813	100%



問14 私たちの身近な暮らしの中で環境面で困っていること、気になることは何ですか。

	人数(人)	割合(%)
自動車などの排出ガス	43	2%
工場やごみ焼却場などからの排出ガス	27	1%
川やため池がきたない	109	5%
家庭からの排水	44	2%
工場や廃棄物処理施設などの排水	12	1%
工場や廃棄物処理施設、畜産場などの悪臭	79	4%
自動車、オートバイなどの騒音	136	7%
工場などの騒音	13	1%
カラオケ、ピアノなどの騒音	5	0%
家庭ごみの不始末	103	5%
道路わきのごみや空き缶	277	13%
川やため池のごみ	55	3%
ごみの不法投棄	216	10%
日当たりや風通しが悪い	16	1%
テレビの受信状態	31	1%
近所に緑が少ない	13	1%
付近に公園や広場がない	86	4%
電柱や電線が目障り	83	4%
まちの看板や案内板などが目障り	13	1%
地球温暖化(夏の暑さ、冬の温かさ、異常気象)	321	15%
日常生活で使用するレジ袋等プラスチックごみ	53	3%
里山の荒廃、林地開発等による獣害	231	11%
困っていることはない	34	2%
その他	58	3%
無回答	24	1%
合計	2082	99%



その他

内容	件数
野焼きを禁止してほしい	1
洗剤、柔軟剤などの香料が強すぎる、使用している人が多く、体調が悪くなる時がある。	1
工場からの悪臭、水のにごり	1
新堂駅周辺の空気の臭いが悪い	1
ここ数年で自宅周辺が生ゴミや鶏糞の臭いでくさすぎる。晴れても外に洗濯物が干せないほど。	1
野焼きの煙	1
家庭ごみを庭先で燃やしている家が多く、臭いやダイオキシンが気になる。	1
家の横で地域の野焼きをされる。煙、すすが飛んでくる。大量の肥料による悪臭。	1
田、畑の野焼き等が有り、洗濯物が臭くなる。	1
	1
隣家の廃水が直接側溝に流れるので虫がわく。	1
ソーラーパネルが多くなり、自然の破壊につながっている。養鶏場から夏場に悪臭がする。窓も開けられない。	1
公園の松の葉が、とゆに多くたんたまって困っています。とゆがつまります。	1
旧市内でも廃虚状況の家が点在している。	1
ガラスが多い。特にゴミ置き場周辺。	1
行政の処理場の不満	1
家の前に電柱があり、頻りに車のドアミラーが電柱にあたりその破片がたくさん飛び散っている。	1
指定ゴミ袋が高い	1
インターごみ	1
友生インターのポイ捨て	1
マスク等が道端にすててある	1
特に名阪の出入口ゴミだらけです。	1
犬の糞の放置、飼い主を処罰すべきだと思います。	1
野良猫の糞、尿	1
時々、自衛隊のヘリコプターが上空を通過。低空飛行する為、音がうるさく、家も揺れる。(振動がひどい)青山高原にある自衛隊のヘリコプター?	1
昔は夏、桜植駅前はジャケット夏物が必要だった。12月初め、6~10日頃には初雪だったような…今秋もりにくい気候。	1
旧大山田に作られようとしている風力発電に反対したい。	1
今年の残暑の厳しさ、今後心配。	1
里山、竹林の不管理、太陽光発電施設の設置による土砂流出	1
ソーラーで畑、森林が失われている事。	1
ダムによる水道料金値上がり、風力発電による山くづれ	1
自然環境にミスマッチなソーラーパネルと設置後の草刈り等の措置	1
アライグマ	1
鹿、イノシシ、カワウソ、キツネが田畑を荒らすので困っております。	1
野生動物の被害に非常に困っている。アライグマ(テン)の糞が家の敷地内、道路のいたる所、鹿も畑の作物が全滅。	1
鹿やイノシシ、アライグマ等による被害	1
動物による作物被害(空家が増えている)	1
鳥獣糞害	1
道路の不整備	1
大きい工場、会社勤務者の出退勤の時間帯の渋滞。流れるように考えるべきでは。	1
道路の補修	1
街路樹の根が歩道へ張り出しデコボコして転倒する	1
草刈りの回数が少ないせいで、見通しが悪くなること。	1
草がのび放題になった空き家が多くなった。	1
公園等が近くにないためか家の前の道で子どもが遊びとてもうるさい	1
河川や家屋に沿った休耕田の伸び放題にしてある雑草や雑木	1
草、木が伸び放題	1
管理できていない田畑が多くなった。空家も多くなった。	1
高齢化で管理がいきとどいていない田、畑、個人所有地が多くあり、草がのびきっているなど荒れていて困っている。	1
除草剤を使用されること(家のすぐ前の土地で頻りに)	1
木の管理が不十分、電線に近づいていて危ない。	1
空き家もしくは空き地に雑草が生えすぎ	1
空き家の崩壊、生け垣放置。	1
空家の問題、放置されている、制度にも問題	1
公園や広場は有るが使い勝手が悪い。	1
蚊が多い。城下町らしくない建物、家が多すぎる。	1
工業団地を作るために森林を破壊するのはやめてほしい	1
歩道が狭くて、子供3人連れて歩くと危ない。	1
つり禁止ばかり	1
犬のブリダーさんがいて鳴き声がやかましい(一日に何度も)	1

問15 地球温暖化について感じることは何ですか。また、気になることは何ですか。

	人数(人)	割合(%)
気温上昇、猛暑日の増加	657	30%
降雪日の減少	114	5%
作物の発育や育成の変化	130	6%
台風の大型化、ゲリラ豪雨・洪水の発生	550	25%
作物、生物分布の変化	60	3%
四季の期間の変化	209	10%
害虫の異常発生	125	6%
感染症(デング熱など)の発生機会の増加	113	5%
農業への影響	164	8%
特に感じる事、気になることは	25	1%
その他	7	0%
無回答	26	1%
合計	2180	100%

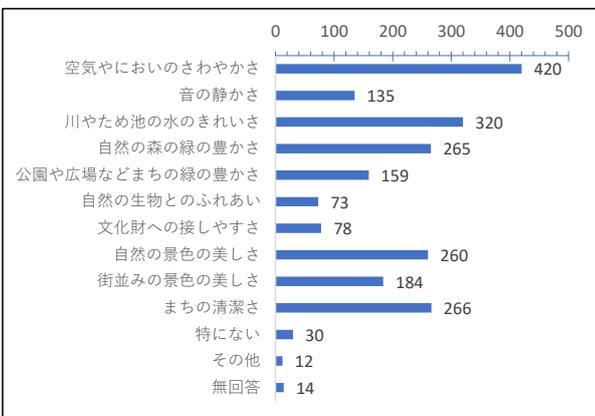


その他

内容	件数
外来生物も増えている	1
猫の糞、尿、家の敷地内にされる	1
熱中症の増加	1
魚貝類の漁れ方に変化が出ていること。	1
地球温暖化の原因を正しく知りたい。	1
35年前、自然を求め引っ越し家を建てたのに…残念です。	1
コロナに対する行政の対応に不満	1

問16 私たちが日常くらししているところの空気や水などの生活環境、木々や草花、動物などの自然環境、また、伊賀市の自然とのふれあいのための施設などについて、最も大切なものは何ですか。

	人数(人)	割合(%)
空気やにおいのさわやかさ	420	19%
音の静かさ	135	6%
川やため池の水のきれいさ	320	14%
自然の森の緑の豊かさ	265	12%
公園や広場などまちの緑の豊か	159	7%
自然の生物とのふれあい	73	3%
文化財への接しやすさ	78	4%
自然の景色の美しさ	260	12%
街並みの景色の美しさ	184	8%
まちの清潔さ	266	12%
特にな	30	1%
その他	12	1%
無回答	14	1%
合計	2216	100%

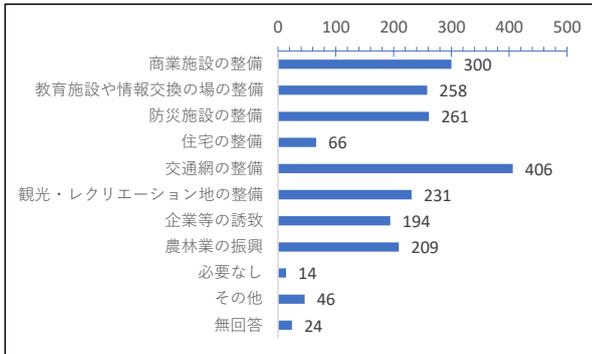


その他

内容	件数
移住の促進	1
下水道の不満	1
生産緑地の保全	1
周辺地域での公園、広場の整備	1
西の家の木が家に入って枯葉、種が入り困ってます。	1
観光客に来てもらいたい。素敵な町にしたい。	1
里山、竹山が適切に管理されていること、農業用水路に土砂等が流入しないこと。	1
森林、田畑などの管理	2
水がおいしいこと	1
郡部に人の集まれる場所少ない、地域全体が集まれるイベント減少マンネリ化	1
獣害、いのしし、しか、さるのない豊かさ	3

問17 地域の発展、活性化のため、伊賀市として最優先で取り組むべきものは何ですか。

	人数(人)	割合(%)
商業施設の整備	300	15%
教育施設や情報交換の場の整備	258	13%
防災施設の整備	261	13%
住宅の整備	66	3%
交通網の整備	406	20%
観光・レクリエーション地の整備	231	12%
企業等の誘致	194	10%
農林業の振興	209	11%
必要なし	14	1%
その他	46	2%
無回答	24	1%
合計	1985	100%

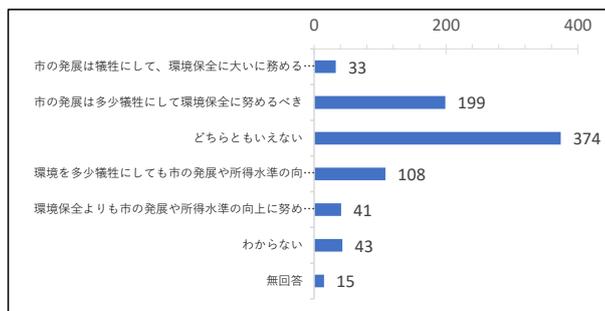


その他

内容	件数
旧市庁舎どうするのか。	1
公共施設の集約化	1
ムダを無くす努力をすること	1
<small>市内を昔のようにもっと活性化させなければいけない、現在のままでは最低、市内をゴースタウンにしてどうするのか。</small>	1
子育て支援、支所機能の充実、支所を残す	2
放置された空家、空家の活用など今ある資源を有効活用(旧市役所も)	3
市民税などの税金下げる	1
総合的な取組	1
下水道の普及、整備	2
道路の整備、凹凸が多い	1
誰もが手軽に利用できる施設、適正な処理施設	2
移住の窓口	1
汚水処理の公共化	1
城下町らしい建物の整備	1
JR柘植駅前の整備	1
該当無し	2
自然との共存	1
JR関西線電化	1
行政の拡充	1
人口減少への対応、医療施設の誘致	1
少子高齢化	1
どれが最優先という問題ではなく、バランスがとれた伊賀市をめざすべき	1
若者が住みたいと思える街	1
環境保全→雑草対策	1
大型スーパー(モール)の整備	1
大学誘致、生物の保護、両方進めるべき	1
危険な交差点の立橋化(小田町の和食さと前は特に危険)	1
子どもの教育(地域を大切にしようとする)	1
老人が増加するので生活し易いよう交通の手助(買物等)	1
旧上野市内の商店などがなくなり町中が静まり返っている。もっと昔のようにぎやかさが欲しい。	1
救急医療施設、福祉の充実	3
日本遺産の認定	1
上野ばかりではなく青山町の色々なところ(駅前の時計)など直してほしい。	1

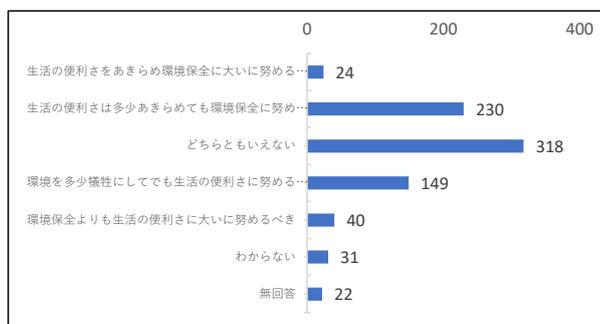
問18 環境を守ることと、伊賀市の発展のための開発や施設整備を進めることと、どちらを優先すべきですか。

	人数(人)	割合(%)
市の発展は犠牲にして、環境保全に大いに務めるべき	33	4%
市の発展は多少犠牲にして環境保全に努めるべき	199	24%
どちらともいえない	374	46%
環境を多少犠牲にしても市の発展や所得水準の向上に努めるべき	108	13%
環境保全よりも市の発展や所得水準の向上に努めるべき	41	5%
わからない	43	5%
無回答	15	2%
合計	813	100%



問19 環境を守ることと私たちの暮らしの便利さを求めることとどちらを優先すべきですか。

	人数(人)	割合(%)
生活の便利さをあきらめ環境保全に大いに努めるべき	24	3%
生活の便利さは多少あきらめても環境保全に努めるべき	230	28%
どちらともいえない	318	39%
環境を多少犠牲にしても生活の便利さに努めるべき	149	18%
環境保全よりも生活の便利さに大いに努めるべき	40	5%
わからない	31	4%
無回答	22	3%
合計	814	100%



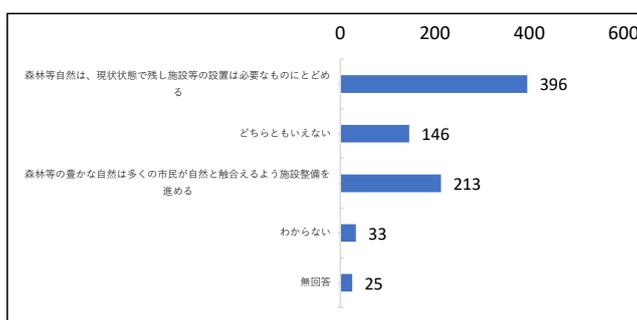
問20 環境保全のため、市中で販売されている商品やサービスの価格について、費用が上乗せされることに賛成ですか。

	人数(人)	割合(%)
環境保全に必要な費用を商品価格等の上乗せすることはやむを得ない	228	28%
どちらともいえない	259	32%
環境保全に必要な費用を商品価格等の上乗せすることは避けるべき	244	30%
わからない	58	7%
無回答	24	3%
合計	813	100%



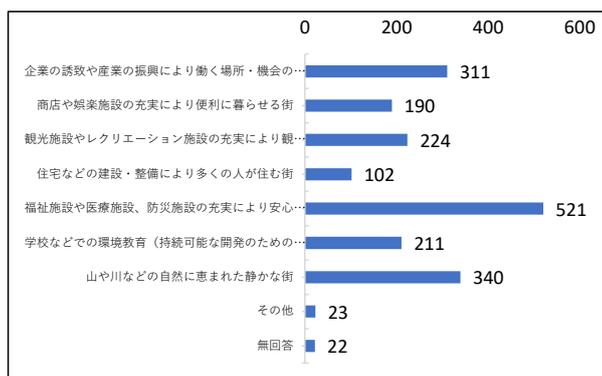
問21 自然との触れ合いのための施設の整備は必要だと思いますか。

	人数(人)	割合(%)
森林等自然は、現状状態で残し施設等の設置は必要なものにとどめる	396	49%
どちらともいえない	146	18%
森林等の豊かな自然は多くの市民が自然と触れ合えるよう施設整備を進める	213	26%
わからない	33	4%
無回答	25	3%
合計	813	100%



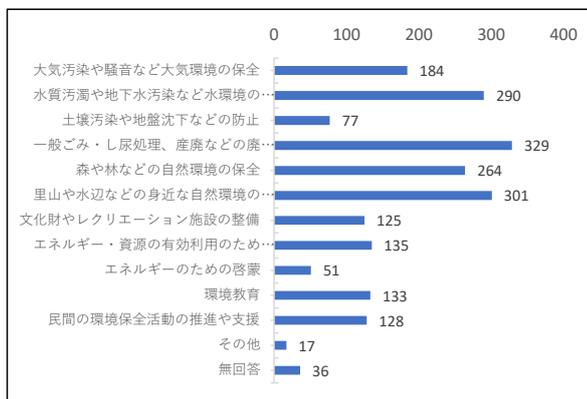
問22 伊賀市全体のイメージとして、どのようなイメージがふさわしいと思いますか。

	人数(人)	割合(%)
企業の誘致や産業の振興により働く場所・機会のある街	311	16%
商店や娯楽施設の充実により便利に暮らせる街	190	10%
観光施設やレクリエーション施設の充実により観光客などの多くの人が訪れる街	224	12%
住宅などの建設・整備により多くの人が住む街	102	5%
福祉施設や医療施設、防災施設の充実により安心して暮らせる街	521	27%
学校などでの環境教育(持続可能な開発のための教育など)が充実する街	211	11%
山や川などの自然に恵まれた静かな街	340	17%
その他	23	1%
無回答	22	1%
合計	1944	100%



問23 環境保全のため、伊賀市として取り組むべきものは何ですか。

	人数(人)	割合(%)
大気汚染や騒音など大気環境の保全	184	9%
水質汚濁や地下水汚染など水環境の保全	290	14%
土壌汚染や地盤沈下などの防止	77	4%
一般ごみ・し尿処理、産廃などの廃棄物処理	329	16%
森や林などの自然環境の保全	264	13%
里山や水辺などの身近な自然環境の保全	301	15%
文化財やレクリエーション施設の整備	125	6%
エネルギー・資源の有効利用のための施策	135	7%
エネルギーのための啓蒙	51	2%
環境教育	133	6%
民間の環境保全活動の推進や支援	128	6%
その他	17	1%
無回答	36	2%
合計	2070	100%

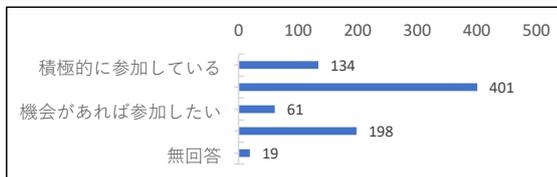


その他

内容	件数
三重県南エリアの方の木材チップ発電など、発電うまくいくだろうか。他、伊賀のダム、放流(豪雨)の洪水は大丈夫か。	1
市担当課の増員と目に見える活動	1
環境保全活動した法人・個人への助成金補助	1
下水道の普及	1
先ず、道路の整備	1
道ばた等のポイ捨て、名阪沿の不法投棄、美観対策	2
企業ごみの適正な処理	1
里山、竹林、田畑の適正管理、太陽光発電施設の雨水対策。	1
家庭内のゴミ出しルールの徹底。伊賀市のゴミの分別の表では分りにくいところがある。もっと詳細にゴミの分別の仕方、あるいはリサイクルの仕方について表記すべき。	1
市民による活動	1
運動公園の遊具施設の充実、子供プールの新設	1
ボランティアシルバーの組織化、雑草駆除応援隊等	1
ソーラーパネルの設置に係る環境アセスメント及び設置後の環境保全義務事項の整備(条例等)	1
少子高齢化による急速な人口減で財源確保が難しくなることで、環境保全に財源はあてるべきではない。	1
畜産場などの悪臭	1

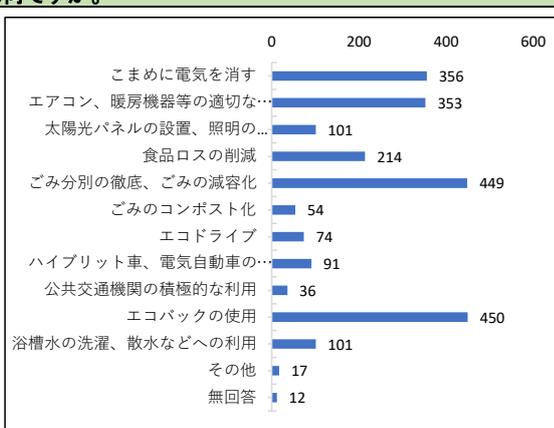
問24 地域の清掃活動や廃品回収、また、緑の植樹など環境保全に関する活動に参加したことはありますか。

	人数(人)	割合(%)
積極的に参加している	134	16%
参加したことがある	401	49%
機会があれば参加したい	61	8%
参加したことがない	198	24%
無回答	19	2%
合計	813	100%



問25 現在、あなたが取り組まれている環境に配慮した活動は何ですか。

	人数(人)	割合(%)
こまめに電気を消す	356	15%
エアコン、暖房機器等の適切な温度設定	353	15%
太陽光パネルの設置、照明のLED化	101	4%
食品ロスの削減	214	9%
ごみ分別の徹底、ごみの減容化	449	19%
ごみのコンポスト化	54	2%
エコドライブ	74	3%
ハイブリット車、電気自動車の使用	91	4%
公共交通機関の積極的な利用	36	2%
エコバックの使用	450	19%
浴槽水の洗濯、散水などへの利用	101	4%
その他	17	1%
無回答	12	1%
合計	2308	100%



内容	件数
排水タンク裏が家は本ついでいます。ベットの用具の手入れ、洗濯、洗濯(玄関マットは雨水で洗える)た裏にトイレにバケツで洗ってみたりすると水道代が変わる。	1
「廃棄物の減少」生活用品等や電化製品は詳しくは詳しくは不具合が生じた場合、即買え替えるのではなく、自分で工夫して心がけている(使い捨て意識を持たず、物を大切に使う)。	1
特になし	2
散歩足の草引、ゴミ集め等	1
日用品(洗剤、シャンプーなど)自然に分解される成分のものを使っている。	1
河川の環境	1
9以外全て取組み	1
雨水の利用	1
竹林の管理、未耕作農地の草刈り。	1
食品バックの嵩が高すぎて、プラスチックごみが多すぎる。	1
油や塩をなるべく排水にしない。CO2排出が少ないプラスチックを選ぶ。地産地消で輸送の環境負荷を減らす。	1
光熱費の節約	1
冬はカジュアルこたつで我慢している。	1
ここに書かれている全ての事柄は平素の生活の中で毎日気をつけている問題で特に目新しい内容でもないです。	1
電池等使用の機器	1
フリマサイトの活用	1

問26 今後行いたい(参加したい)環境保全活動について。

	人数(人)	割合(%)
ごみの減量化やリサイクルの推進等くらしの中での工夫や努力	538	37%
市民活動や行事に参加	227	16%
周囲の人への環境保全に対する啓蒙活動	130	9%
環境教育(持続可能な開発のための教育など)への参加	123	8%
市民センターなどで行っている市民向けの環境指導への参加	139	10%
自身は活動や参加は特にしないが環境保全に必要な資金を負担してもかまわない	77	5%
とくに活動に参加したいとは思わない	190	13%
無回答	35	2%
合計	1459	100%

